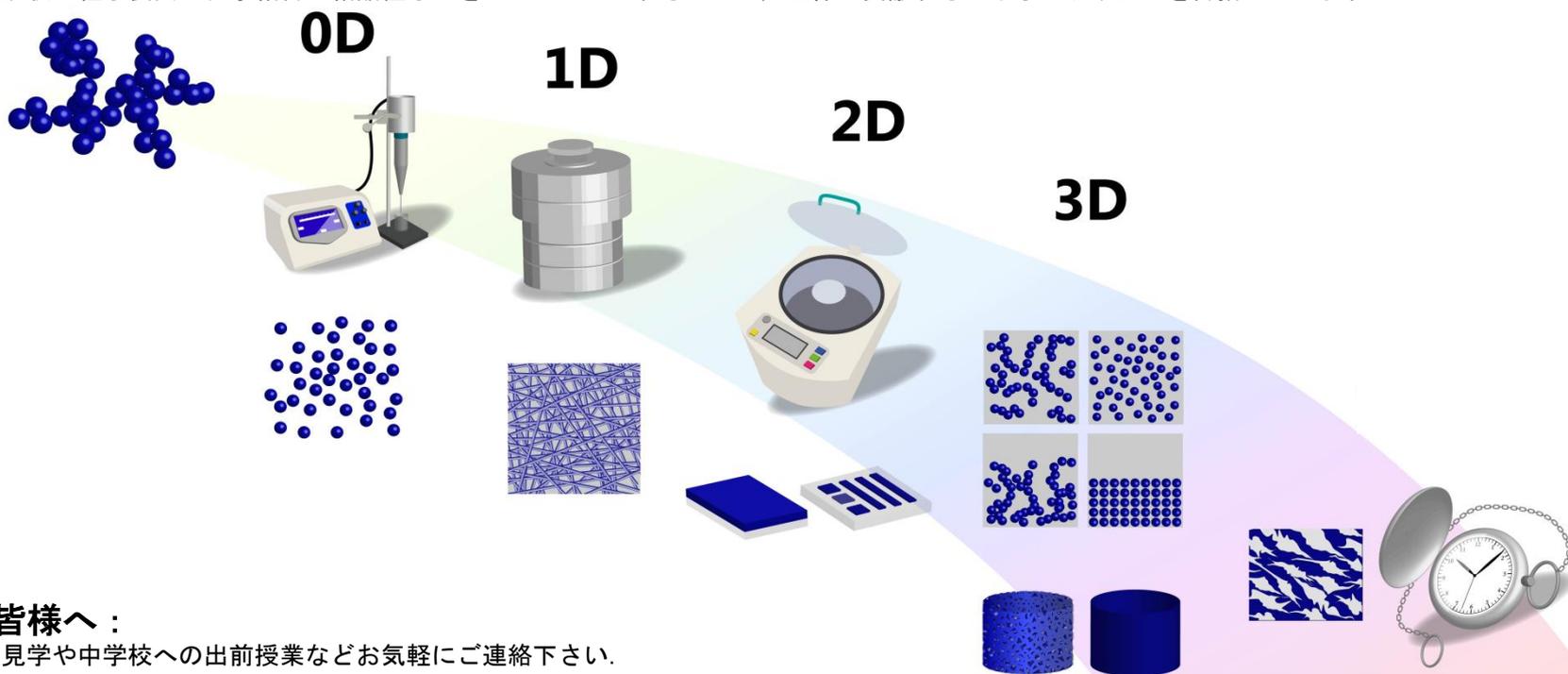


生体材料工学研究室

研究内容：

この研究室は生体への親和性の高いアパタイトを中心としたバイオマテリアルを扱っています。湿式合成では小さいアパタイト粒子が作製できますが、小さい粒子のままでは不安定なため粒子と粒子がくっつき合って大きな凝集粒子が生成してしまいます。当研究室では凝集しにくい分散粒子を作製するとともに、粒子径・粒子形状・粒子表面の化学結合・結晶性などをコントロールすることで、生体へ貢献するバイオマテリアルを目指しています。



中学校の皆様へ：

○当研究室の見学や中学校への出前授業などお気軽にご連絡下さい。

学外の皆様へ：

レーザー回折式粒度分布計・ゼータ電位測定・DLS測定・水熱処理による凝集粒子の改善・FT-IRによる化学結合解析・沈降試験による凝集分散評価・ソニケータによる粒子分散・FE-SEMによる形状観察や元素分析・ICPによる化学分析・材料表面の接触角測定などを行っております。粒子評価のお手伝いをさせて頂きたく思っております。何かございましたらお気軽にご連絡頂ければ幸いです。

連絡先：

川越大輔
物質工学科 生体材料工学研究室
0285-20-2803
kawagoeアットマークoyama-ct. ac. jp

[日本セラミックス協会資金助成の動画](#)